

# もりや里山新聞

'24/3/3

【日曜日】

発行

守谷里山ネットワ

## 一、夏休み里山開放

令和五年夏の猛暑は歴史的な中、昨年続き、子供たちの遊び場として夏休みに里山を開放することとしました。事故などがないように、事前に各所を点検し補修改修しました。

ツリーデッキは木の成長によって傾いてきたことから抜本的に改築しました。熱中症対策として冷たい井戸水を

を活用して湧水地の周辺整備、湧水プールに冷水シャワーを設置しました。

特に冷水シャワーは猛暑が九月まで続いたので稲刈り行事でも効果を発揮しました。

六月市広報紙に里山の特集号が掲載されたこともあって、夏休みの週末は各団体の申し込みが相次ぎました。十数団体、二百人近くの親子家族が来訪し里山の夏を楽しんでくれました。

八月六日(日)は地元大井沢小学区の子供会「スマイルシーズ」が、湧水プールの冷水にびっくりしながら大騒

ぎでし  
た。笹  
舟流し、  
ザリガ  
ニ釣り、  
スイカ

割なども楽しみました。  
十二日(土)は子育て

支援ネットの「ママもり」関係者などがやってきました。ソーメン流しや水上パネル飛びなどが大人気でした。

まだコロナが完全に終息していないので大規模なイベントは実施せず、

改築されたツリーデッキ



小川で笹舟流し



スイカ割



小人数の家族やプールの参加者が中心

冷たい湧水プール



となりま  
した。マ  
ネイチャ  
ーライフ  
などの大  
人の団体  
も、屋外  
交流の場  
としてバ  
ーベキュ  
ーを実施  
しました。

### — 目次 —

1. 夏休み里山開放；湧水プールソーメン流し
2. 4年ぶりの北守谷夏祭り出店
3. 第二回自然観察会
4. 収穫の秋：稲刈り、芋掘り、マコモダケ
5. 炭焼き交流会

**ボランティア募集**  
あなたも一緒に楽しみましょう!

## 守谷里山ネットワーク

〒302-0119

守谷市御所ヶ丘 5-25-1 守谷市民活動支援センター

☎ 0297-46-3370

メール [denen21@ktb.biglobe.ne.jp](mailto:denen21@ktb.biglobe.ne.jp)

ホームページ

「[守谷の里山](#)」

<http://satoyama.moriya-nature.com/>

守谷市では、多くのボランティア団体が各地で、手作りによる里山づくりを行っています。何か地域で活動してみたい/自然と関わりのある活動してみたい/子供たちの遊び場を作ってみたい/みんなで楽しく汗をかいてみたいそんな思いをお持ちの方は、ぜひこの機会にご一緒に活動してみませんか。

## 二、四年ぶりに北守谷

### 夏祭り出店

北守谷の夏祭りはコロナ禍で三年間中止となっていました。今回は四年ぶりに再開されることとなり、立沢里山の会は常連団体として参加することとしました。

最も歴史のあるのは「焼きそば」です。スマイル大野の女性陣の活躍で今年も実施することができました。猛暑の中で火を使う焼きソバは大変です。

守高のボランティア学生には飛び入り参加でヤキソバ焼きを手伝



北守谷団地の夏祭り出店



ってもらいました。諸物価高騰の影響を受けて焼きそばは定価三〇〇円に値上げしましたが、完売しました。

焼きそばの他、パネルによる里山紹介、恒例の竹炭アート、竹酢液、今回は新たに夏ワラビやブルーベリーも試行的に出してみました。

二日間、多くの市民と交流する機会ともなりました。

## 三、第二回自然観察会



自然観察会

昨年 引き続き 郷州公民館主催の植物観察会が、九月九日(土)、「もり

りん北守谷」で開催されました。守谷市民の大家族、計十六人(親七人、子供九人)が参加し、台風の後やや曇り空の中、約一時間に渡り公民館近くの雑木林で始めました。

飯田先生(茨城県自然博物館)の各種植物の解説と共に自らのスマートフォンやタブレットで撮った写真を調べて名前などを確認し、親子で楽しむ姿が見られました。

また植物学者の牧野富太郎先生が命名された植物を二種類発見し、飯田先生より説明がなされました。



牧野博士の名前がついた植物を見つかるだけでなく、その特徴や生態についても学びます。親子で自然に触れる楽しさと、植物の多様性と美しさに感動することが出来ます。観察会終了後も飯田先生を取り囲み、質問する子供達もあり、充実した観察会となりました。

今年も守谷ネイチャライフは、運営支援を行いました。来年もこのイベントを続けていきたいと思っております。興味のある方はぜひご参加ください。

### 四. 収穫の秋 九月九日(土)立沢里山の 稲刈

今年の田んぼの学校はコロナの一段落を踏まえて四年ぶりに北守谷三小学校の合同開催となり、五月には田植えを行いました。

九月は稲刈りの季節ですが、今度は歴史的な猛暑で熱中症の危険性が高く学校の屋外活動は厳しく制限される状況となりました。そのため、授業としての平日開催は取止めて、週末に有志が親子で自由参加することとし、九月九日(土)としました。

ところが数日前に台風十三号直撃の恐れが出てきて、一日延期して最終的には九月一〇



稲刈りの実施



竹製の湧水シャワー



日(日)としました。幸い台風が

関東を直撃することはありませんでしたが、台風が刺激する前線による線状降水帯の影響で、沿岸部には大きな被害が出ました。守谷も降水量が多く田んぼにはかなり湛水しました。急いで排水改良を実施して、足場は悪くても何とか稲刈りは可能と判断しました。

ところが当日は、朝から猛暑となり、かなり厳しい状況となりました。開始を暑くなる前の八時半とし、日陰用の天幕設置、飲み物用意など、できるだけ準備をしました。幸い、大勢の参加者が集まりましたが、念のために子供

たちの作業は一時間で切り上げることにしました。

開会挨拶や説明を行い、さっそく田んぼに入りますが、田んぼには大雨で水が溜まっており足場が悪く大変です。今回は親子参加が多く、最初は子供たちが中心となって稲刈りを始めます。子供だけだと刈り取った稲穂が散乱して、收拾がつかなくなることも多いのですが、今回は大人がフォローし、結束や運搬を請け負ったので、かなり順調に作業は進みました。

一時間ほどで休憩、天幕の日陰で里山の会からの飲み物提供を受けましたが、用意した数量はアツという間になくなりました。子供たちは竹を使った冷水シャワーに冷たい!と大騒ぎしながら興味津々で、手や足を洗いながら、水遊びでしばしくつろぎました。ここで子供たちは



古代米の稲刈り



解散として、大人が残って後の稲刈りを継続し、午前中に全ての田んぼの稲刈りを終了できました。稲わら妖怪を解体した稲わらを結束用に使いましたが、思いもかけずフレームをオダとして活用し有効でした。次年度に向けて残そうと思います。

### 九月二十四日(日)同地守 谷森林クラブ古代米の稲 刈り

古代米の稲刈りは一般的な稲より遅く、同地の守谷森林クラブが運営する田んぼでは九月の末、二四日(日)に稲刈りが行われました。晴天の秋晴れで、彼岸花も満



芋掘り



開のなか、稲刈りが行われました。古代米は背丈が長く、黒い稲穂は迫力があります。

**十一月五日子供会の芋掘り**  
 スマイルシューズ子供会の芋掘り(さつまいも)が十一月五日(日)に行われました。  
 今年は猛暑で大変！芋も暑くて大変でしたが、里山の会の草取りも十分にできず、雑草との戦いに苦劳しました。  
 周辺の草をとり、掘り起こすと、文字通りに芋蔓方式で大小の芋が出てきて、歓声が上がります。中には子供の顔ほどの大きさのものもありました。  
 異常気象の影響で、ひび割れたものもありましたが、まずまずの収穫でした。

**一〇月マコモタケの収穫**

十月になるとマコモの根元がマコモ菌によって膨らんできてマコモダケとなります。季節になると次々と根元が膨らんできて連日の収穫作業も大変です。パーベキューなどで楽しみました。



収穫されたマコモダケ

で三月に中止となった竹材を取り出し、軽トラックで運搬して、同地の窯に詰め直しました。

二十六日(日)炭焼きと交流バーベキューの予定でしたが、大寒波で作業は切り上げとしました。

**五.炭焼き交流会**

立沢里山の会は坂東市の県自然博物館内に制作した炭窯「博楽玄窯」で炭焼きをしてきましたが、窯が崩壊したことから、同地にある守谷森林クラブの炭窯を借用し

熱火入れと、森林クラブの古代米の脱穀、天気にも恵まれ、相互協力しながら作業からバーベキューまで楽しく交流できました。

十二月二十四日(日)と一月二四日(日)に火入れ炭焼きを実施しました。森林クラブ

は正月に向けて稲わらで「飾り物の亀」を製作しました。

また三月三日(日)に竹炭の窯出しを行いました。木の実等を含めてまずまずの焼き上がりでした。

同日は森林クラブのシイタケ原木の菌コマ打ちも行われ、立沢里山の会も初体験をしました。

て、炭焼きをすることになりました。十一月十八日(土)博物館の炭窯に詰め込んだまま



交流バーベキュー



足踏み脱穀



稲わらの亀

**【編集後記】**  
 守谷市内で里山活動に取り組んでいる皆さんからの情報提供が何よりも重要です。本紙への活動報告、行事の予告など記事をお寄せください。こちらまで  
 メール⇒ [denen21@ktb.biglobe.ne.jp](mailto:denen21@ktb.biglobe.ne.jp)